

## 三菱自動車、クロスオーバーSUV 新型『エクリプス クロス』を発売 ～デザインを一新し、新たに PHEV モデルを設定～

三菱自動車工業株式会社（本社：東京都港区、代表執行役 CEO：加藤 隆雄、以下三菱自動車）は、デザインを一新し、新たに PHEV モデルを設定したクロスオーバーSUV 新型『エクリプス クロス』を 12 月 4 日（金）から全国の系列販売会社を通じて販売を開始します。車両本体のメーカー希望小売価格は PHEV モデルで 3,848,900 円～4,477,000 円（消費税 10%込）、ガソリンモデルで 2,531,100 円～3,346,200 円（消費税 10%込）としています。



『エクリプス クロス』 PHEV モデル

『エクリプス クロス』 ガソリンモデル

『エクリプス クロス』は三菱のクルマづくり 100 周年となる 2017 年にグローバルで発売したクロスオーバーSUV で、スタイリッシュなクーペフォルムと SUV の機動力を融合させた三菱自動車らしい SUV として好評を博してきました。今回の改良ではいっそう伸びやかで流麗なフォルムとしながら、SUV としてのダイナミズムを高めました。そして、新たに PHEV モデルを設定。PHEV カテゴリーにおいて累計販売台数で世界ナンバー 1\*<sup>1</sup>を誇る『アウトランダーPHEV』と同様にツインモーター4WD方式の PHEV システムを採用しています。

\*1：2013 年 1 月～2020 年 9 月累計販売台数。当社調べ

新型『エクリプス クロス』は、10 月 15 日から予約注文を受け付けており、11 月末時点で月販目標の 2 倍となる約 2,000 台を受注しています。

### 三菱自動車 CEO 加藤隆雄コメント

「当社の命題は、得意とする環境技術をさらに強化し、4WD 技術をいっそう磨き上げることで、安心感のある魅力的な商品を世界中のお客様に提供することです。先鞭をつけた PHEV と、ラリーを通じて培ってきた 4WD を両輪として、三菱自動車らしさを追求してまいります。新型『エクリプス クロス』は、積極的にカーライフを楽しみたい、何か新しいことに挑戦したいといったお客様の、よきパートナーとして提案します。また、当社は本モデルも含む PHEV を中心に、EV やハイブリッドなど

も含め、2030年の電動車比率を50%とする計画であり、電動車の普及を通じて持続可能な社会の実現に貢献してまいります」

## 1. 商品概要

### (1)グレード展開

- PHEVモデルは、予防安全機能を標準装備したベーシックな「M」、100V AC電源（最大1500W）やヘッドアップディスプレイなど充実装備の「G」、専用外観としスマートフォン連携ナビゲーションなどを標準装備した上級仕様「P」の3グレード展開としています。
- ガソリンモデルは、予防安全機能を標準装備したベーシックな「M」、ヘッドアップディスプレイやレーダークルーズコントロールシステム[ACC]など充実装備の「G」、スマートフォン連携ナビゲーションなどを標準装備した上級仕様「G Plus Package」の3グレード展開としています。

### (2)行動意欲を掻き立てる個性的なデザイン[PHEVモデル/ガソリンモデル共通]

- デザインコンセプトは「Daring Grace（大胆にして、優雅）」。全長の延長と前後デザインの一新により、より流麗で上質なフォルムを実現するとともに、フロントとリヤでSUVとしてのダイナミズムを高めています。
- フロントデザインは、SUVの力強いパフォーマンスと、人とクルマを守る安心感を表現する「ダイナミックシールド」を進化させ、各種ランプレイアウトの変更により、いっそう精悍でスポーティな表情としました。また、バンパー下部にスキッドプレートを採用し、SUVとしての力強さを表現しています。
- リヤデザインでは、従来のダブルガラスから、流れるようなシルエットとなるシングルガラスに変更し、より洗練された伸びやかなフォルムを実現するとともに、すっきりした後方視界を確保。三方向に延びる立体的なりヤランプを高い位置に配置することで被視認性の良さと独自性を持たせました。また、分厚いボディパネルやバンパーは、強さや頑丈さを表現しつつ、背面装着式スペアタイヤからインスパイアした六角形のモチーフと相まって、SUVならではのスタビリティと走破性を表現しました。
- インテリアでは、ブラックを基調色とし、エンボス加工のスエード調素材と合成皮革のコンビネーションシートを上級グレード<sup>\*2</sup>に採用したほか、メーカーオプションの本革シートは従来のブラックに加えてライトグレーを新たに設定。ドアトリムも同色でコーディネートし、上質でスポーティな空間としています。

\*2：PHEVモデルは「P」「G」に標準装備、ガソリンモデルは「G Plus Package」「G」に標準装備

- ボディカラーには、三菱自動車独自の高輝度塗装であるダイヤモンドカラーを2色ラインアップしました。従来からのレッドダイヤモンド<sup>\*3</sup>に加え、ホワイトダイヤモンド<sup>\*4</sup>を新たに追加しました。このホワイトダイヤモンドは、パールの白い輝きと金属の陰影を併せ持つ色としており、爽快でありながら艶やかな大人のエレガントさを演出しています。

\*3：有料色 77,000円（消費税10%込）

\*4：有料色 77,000円（消費税10%込）

### (3)モータードライブを心ゆくまで楽しめる PHEV

- 前後1基ずつの高出力モーター、大容量駆動用バッテリー、2.4L MIVEC エンジンなどで構成するツインモーター4WD方式のPHEVシステムを、『アウトランダーPHEV』から継承し、『エクリプス クロス』に合わせて制御を最適化させ、電動車ならではの滑らかで力強い加速、軽快感と安心感のあるハンドリングを実現しました。
- 駆動用バッテリーは13.8kWhでEV航続距離を57.3km(WLTCモード)とし、日常生活の大半でEV走行を可能としています。走行モードは、駆動用バッテリーの電力でモーター駆動する「EV走行モード」、エンジンで発電した電力でモーター駆動する「シリーズ走行モード」、エンジンで発生した動力で走行し、モーターがアシストする「パラレル走行モード」の3つの設定で、走行状況に応じて自動で切り替え、様々な状況においてモータードライブを楽しむことができます。
- 車内に設置した100V AC電源(最大1500W)により電化製品に電力供給が可能<sup>\*5</sup>で、アウトドアレジャーでは便利な、非常時には頼もしい電力源となります。さらに、急速充電口を使いV2H<sup>\*6</sup>機器と接続すると、車に蓄えた電力を家で使うことができる家庭用の蓄電池となります。また、自ら発電することができるため、満タン・満充電の状態からでは、一般家庭の最大約10日分<sup>\*7</sup>に相当する電力を供給することができます。

\*5: 定格消費電力1500W以下でも使用できない機器があります。

使用する電気製品に付属の取扱説明書や、製品に記載されている注意事項をご覧の上でご使用ください。

\*6: Vehicle to Home

\*7: 供給可能電力量は当社試算による(一般家庭での一日当たりの使用電力量を約10kWh/日として算出)。

### (4)四輪制御技術による安心して楽しめるドライビングフィール

- 高いボディ剛性と前後サスペンションの最適化により、S-AWC(Super-All Wheel Control)の効果を一っそう引き出し、ドライバーの思い通りの操縦性の実現に大きく貢献するとともに、乗り心地と静粛性を向上させています。
- PHEVモデルは、伝達ロスがなく自由自在に前後駆動力配分を行えるツインモーター4WDをベースとした、S-AWCを採用。高応答・高精度・高自由度という電動車の特性を生かし、「走る」「曲がる」「止まる」という車両運動をより高次元で制御します。さらに、大容量の駆動用バッテリーを床下中央に配置することで前後重量バランスの最適化と低重心化を図ることで、より上質な乗り心地と優れた操縦安定性を実現しました。
- ガソリンモデルは、前後輪へ最適なトルク配分を行う電子制御4WDをベースに、前輪左右の制動力を調整して旋回性を高めるアクティブヨーコントロール(AYC)と、制動力を制御するABS & アクティブスタビリティコントロール(ASC)を協調させるS-AWCを採用し、ドライバーの運転操作に忠実で安心感の高い車両挙動を実現しています。また、サスペンションの最適化と相まって、日常でのより正確で安定したハンドリング、滑りやすい路面での操縦性を向上させています。

- 路面状態や走行状況、ドライバーの好みに合わせて選べるドライブモードを設定しました。様々な状況において適切な操縦性と安定性を提供する「NORMAL（ノーマル）モード」、雪道などの滑りやすい路面で車両挙動を安定させる「SNOW（スノー）モード」、悪路において優れた走破性と安定性を発揮する「GRAVEL（グラベル）モード」を設定。PHEVモデルでは、主に乾燥舗装路での旋回性と安定性を高次元で両立させた「TARMAC（ターマック）モード」も設定し、ドライバーに運転する楽しさと安心感を提供します。

#### (5)機能装備

- 三菱自動車独自のプレミアムサウンドシステムである「三菱シパワーサウンドシステム」\*8を、『エクリプス クロス』専用に設計しました。車両形状に合わせて音響チューニングが行われたハイパワーアンプと8個のスピーカーで構成。フロントにはアルミ蒸着ガラスファイバー製スピーカーとカーボン製コーンを採用したミッドツイーターを、リヤドアにはツイーターを同軸に配置したコアキシャル2Wayスピーカーを搭載し、なめらかでみずみずしい音質を実現しました。

\*8：PHEVモデルは「P」、ガソリンモデルは「G Plus Package」にオプション装備

- 新たに設定した「スマートフォン連携ナビゲーション」は、内蔵地図によるルート案内やVICS交通情報対応といった便利な機能に加え、Android™\*9スマートフォンやiPhone®\*10をUSBポートにつなぐだけで、Android Auto™\*9やApple CarPlay®\*10のお気に入りのアプリケーションを満喫できます。また、ディスプレイ画面を8インチに拡大し、見やすさや操作性を向上させました。

\*9：Android™、Android Auto™はGoogle LLCの商標または登録商標です。

\*10：iPhone®、Apple CarPlay®は米国その他の国で登録されたApple Inc.の商標です。

iPhoneの商標は、アイホン株式会社のライセンスにもとづき使用されています。

## 2. 販売概要

### (1)販売目標台数

1,000 台/月

### (2)メーカー希望小売価格

(リサイクル料金、保険料、消費税を除く税金、登録等に伴う費用は含まれません)

PHEV モデル			
グレード	エンジン	駆動方式	車両本体価格 (消費税 10%込)
M	2.4L MIVEC DOHC 16バルブ 4気筒	ツインモーター4WD	3,848,900 円
G			4,152,500 円
P			4,477,000 円
エコカー減税		(参考)令和2年度 クリーンエネルギー 自動車導入事業費補助金	
重量税免税 (100%減税)		220,000 円	

ガソリンモデル				
グレード	エンジン	変速機	駆動方式	車両本体価格 (消費税 10%込)
M	1.5L 直噴 MIVEC DOHC 16バルブ 4気筒 インタークーラー付 ターボチャージャー	INVECS-III 8速スポーツ モード CVT	2WD	2,531,100 円
			4WD	2,751,100 円
G			2WD	2,867,700 円
			4WD	3,087,700 円
G Plus Package	2WD		3,126,200 円	
	4WD		3,346,200 円	

新型『エクリプス クロス』の車種サイトはこちら

<https://www.mitsubishi-motors.co.jp/lineup/eclipse-cross/index.html>

新型『エクリプス クロス』オンライン発表会の様子はこちら

<https://www.mitsubishi-motors.co.jp/lineup/eclipse-cross/special/index.html>

新型『エクリプス クロス』のスペシャルコンテンツはこちら

<https://www.mitsubishi-motors.co.jp/lineup/eclipse-cross/special/contents/index.html>

●新作 TVCM「セルフライティング」篇

LED ライトを 107 本（合計 1498W）使用し、エクリプス クロスを自ら発電したライトで照らすことで、クルマ自身の給電機能の驚きを、圧倒的な映像美とともに表現しています。メイキングムービーとともに、ご覧ください。

●YouTuber コラボ企画「#PHEV チャレンジ」

人気 YouTuber が PHEV を使って様々な企画にチャレンジします。第 1 弾は マックスむらいさんが、ご自身が所有するアウトランダーPHEV に乗って、ガソリンを使わずに電気だけで 250 キロ先の目的地に辿り着けるかチャレンジしてくれました。第 2 弾では QuizKnock とのコラボ動画を更新予定です。

以 上